

マタイ 2

真実の イスラエル

マタイ福音書1章18～25節

メシアの誕生

Shikaoichurch.com

アウトライン

- I. 罪も救いも契約の上に
- II. メシアの誕生 17～25節
- III. まとめと適用

真実のイスラエルを
慕い求めよう





1. 罪も救いも契約の上に

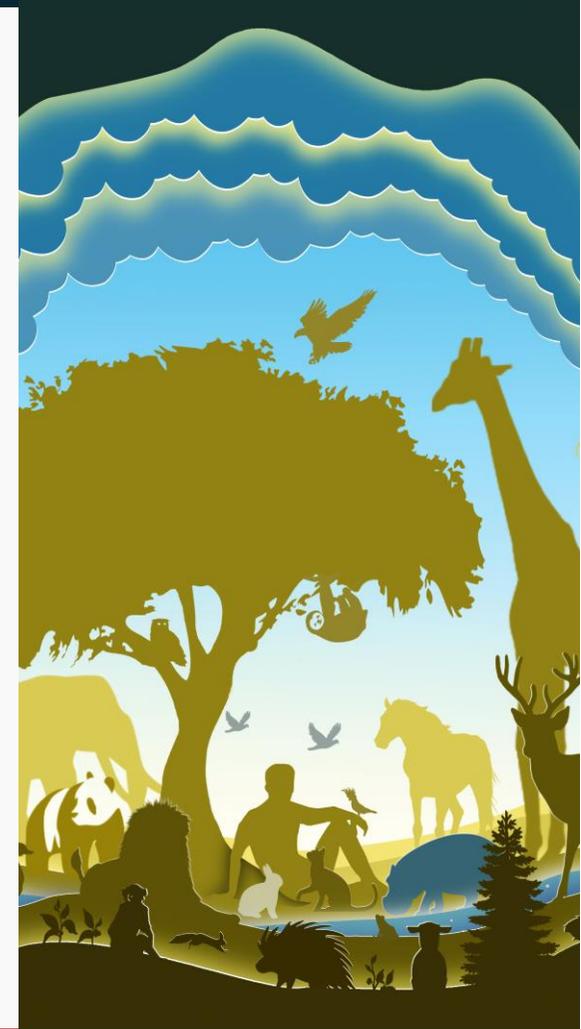
「約束(契約)」 = 「恵み」

■もし、神の契約がなかったら？

- ➔あらゆる面で神のようにならないければ、神の国に住むことはできない。
- ➔際限なしの条件!! 絶対に不可能!!

■神の約束はすべて、一方的な恵み

- ➔契約を守れば、祝福がある。条件の制限。
- ➔人間にも可能性が開かれる



契約なくして罪はない 契約なくして恵みもない

最初の契約と最初の罪

■最初の契約(エデン契約)

恵み…全地の管理、収穫

条件…善悪を知る木の実を食べない
(一定期間遵守→確定)

■最初の罪

罪 …善悪を知る木の実を食べた

結果…神と断絶(=死)

「罪」=「契約を破ること」



限定された契約すら
守り通せなかった

さらなる恵み 「アダム契約」

■ 次なる契約(アダム契約)

罪の結果 …霊的、肉体的死。苦しみ、争い。

贖いの原則…罪の贖いには命が必要

動物の犠牲は一時的に罪を覆うだけ

■ 命をもって罪を贖うのが、「**女の子孫(=メシア)**」

「わたしは敵意を、おまえと女の間、おまえの子孫と**女の子孫**の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。創世記3:15」

究極的な
救いの約束



破滅の瀬戸際を経ての恵み 「ノア契約」

■ 贖いを軽視 → 最初の殺人 → カインの追放
→ 重ねた反逆 → 悪霊との交配 → 大洪水

■ 次なる恵みの契約が、「ノア契約」

二度と大洪水は起こさない
肉食の許可、殺人の禁止

■ 人類の再びの反逆(バベルの塔) → 滅びの危機
→ 共通言語の喪失 → 世界中に離散

人類は、
ただ主の約束に
生かされている



恵みの約束の核心 「アブラハム契約」

■ 神がアブラハムに約束された三つのこと

① 子孫の繁栄 ② 土地の授与 ③ メシアの誕生

■ 完全に一方的に結ばれた契約

→ 破棄されることはない

神の救いの
契約の核心

■ アブラハムは、信じて、契約の恵みを受けた。

イサク、ヤコブは、信じて、契約を受け継いだ。

→ 12人の息子から、**イスラエル民族**が誕生



イスラエルを導く 「モーセ契約(律法)」

■ 出エジプト後、シナイ山でイスラエルと締結

■ イスラエルを他から聖別し、守り導く

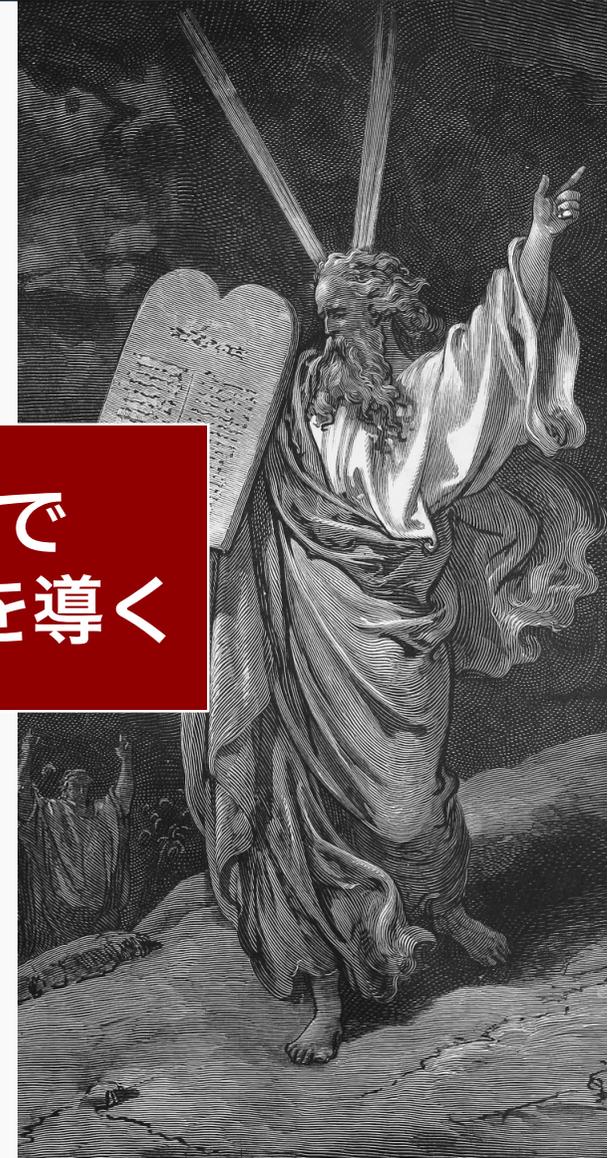
→ 守れば祝福 破れば呪い
イスラエルを導く 飴と鞭

メシアまで
イスラエルを導く

■ 律法を守り通せなかったイスラエル

→ 荒野の40年 → 混沌の士師時代

→ 王国の分裂 → 捕囚 → 苦難の中間時代



1章の系図

| | |
|--------------|--|
| 族長時代 | ①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち |
| 寄留の時 | ④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン → ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフシヨン → ⑩サルマ |
| 定着の時 | ⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ → ⑭ダビデ |
| 王国時代 | ⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム → ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム → ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ → ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち |
| 捕囚後～ 中間時代 | ⑳エコンヤ → ㉙シェアルティエル → ㉚ゼルバベル → ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク → ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マタン → ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス |

神の契約が守られた証し

すべての恵みは、神の契約の上にある

- 神の契約はすべて、神の一方的な恵み
- 誰一人、神の契約を守り通すことはできなかった。
 - …アダムも、その後の人類も、イスラエルも
 - ➔ 誰よりも契約を遵守していたのが聖徒たち
 - ➔ 「正しい者」…真実の信仰者はいつも少数
- 真実の神は、ご自身の契約を守り通された。
 - ➔ イスラエルは守られ、メシアは誕生された

メシア誕生こそ
神の契約の証明



II. メシアの誕生

マタイ福音書1:18～25



懐妊 ヨセフの苦悩 マタイ1:18~19

イエス・キリストの誕生は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人がまだ一緒にならないうちに、聖霊によって身ごもっていることが分かった。

夫のヨセフは正しい人で、マリアをさらし者にしたくなかったので、ひそかに離縁しようと思った。

- 婚約中の、街(合意の上)での姦淫は、双方死罪野(強姦)の場合、男が死罪。(申22:232~7)
- 離縁状を渡して去らせる方法も(申24:1)
➡何とかしてマリアの命を救おうと!!



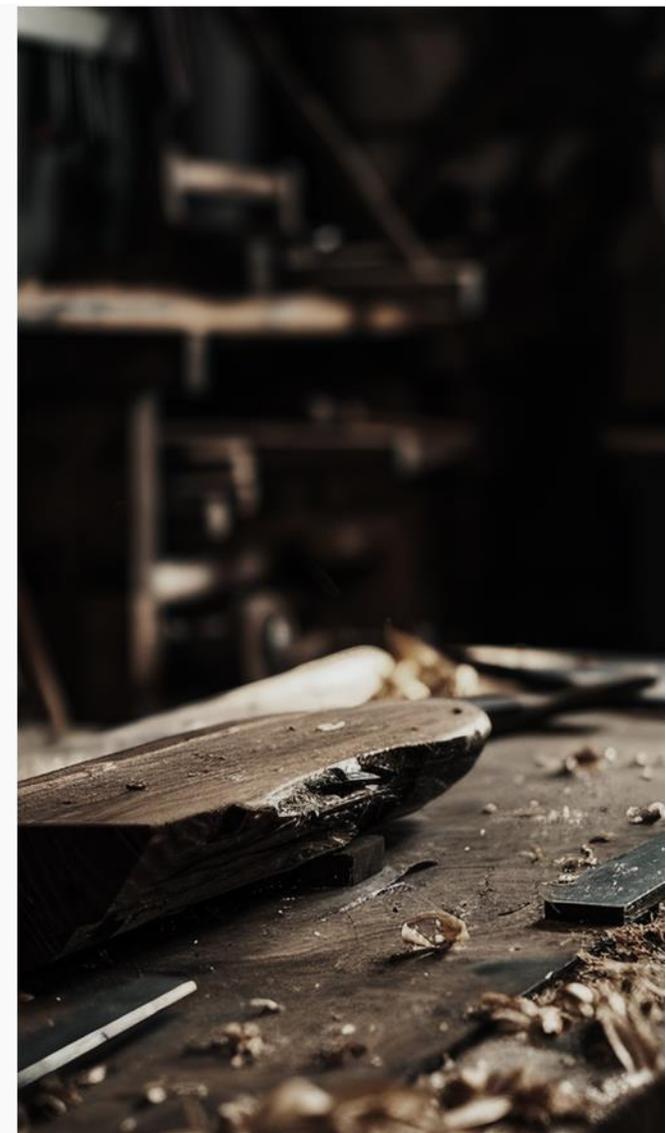
懐妊 御使いの宣告 マタイ1:20

彼がこのことを思い巡らしていたところ、見よ、主の使いが夢に現れて言った。「**ダビデの子ヨセフ***よ、恐れずにマリアをあなたの妻として迎えなさい。その胎に宿っている子は聖霊によるのです。」

*メシアは**ダビデの子孫**に誕生(Ⅰ歴17:10~)

■ダビデの子孫に聖霊によって産まれる子

➔紛れもなくメシアだ、という宣言



メシアは聖霊によってみごもられた

聖霊による懐妊の意味

- エデン契約破棄の責任は → 直接、契約を結んだアダムにある
契約破棄の結果の罪は、男から男へ、血を通して継がれる。
- 罪を継承しないで男子が誕生するには、
→ 男の血を継がないで、子が産まれるしかない!!
- 唯一の方法が、**聖霊**による懐妊
→ 「**女の子孫**(創3:16)」の意味が明らかに!!

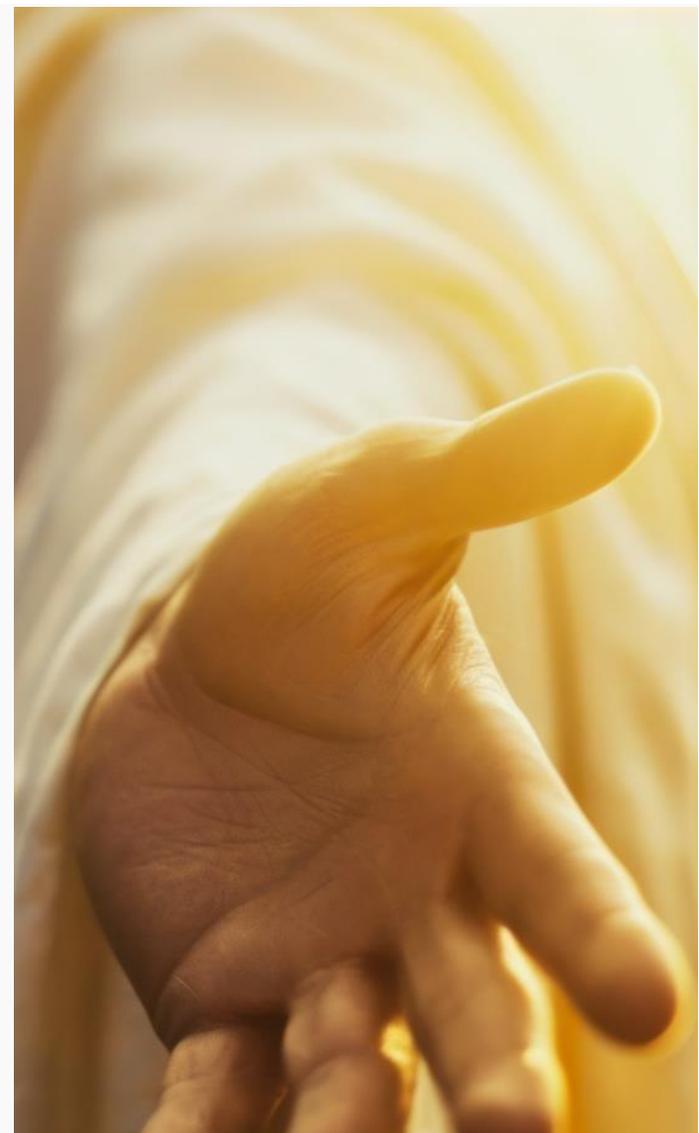
メシアは、罪を継承することなく誕生!!

宣告 メシアの命名 マタイ1:21

「マリアは男の子を産みます。その名をイエス*
とつけなさい。この方がご自分の民をその罪か
らお救いになる*のです。」

*イエシュア = “主は救い”

*イスラエルを救われる



“主は救い”なるイエスこそ、イスラエルのメシア

成就 メシア預言 マタイ1:22～23

このすべての出来事は、主が預言者を通して語られたことが成就するためであった。

「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる*。」それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。

*北王国とアラムの連合国がアハズの南王国へアッシリア捕囚がイザヤによって預言。

➡状況とは無関係の周囲から浮いた言葉が、メシア預言だったことが明らかに!!



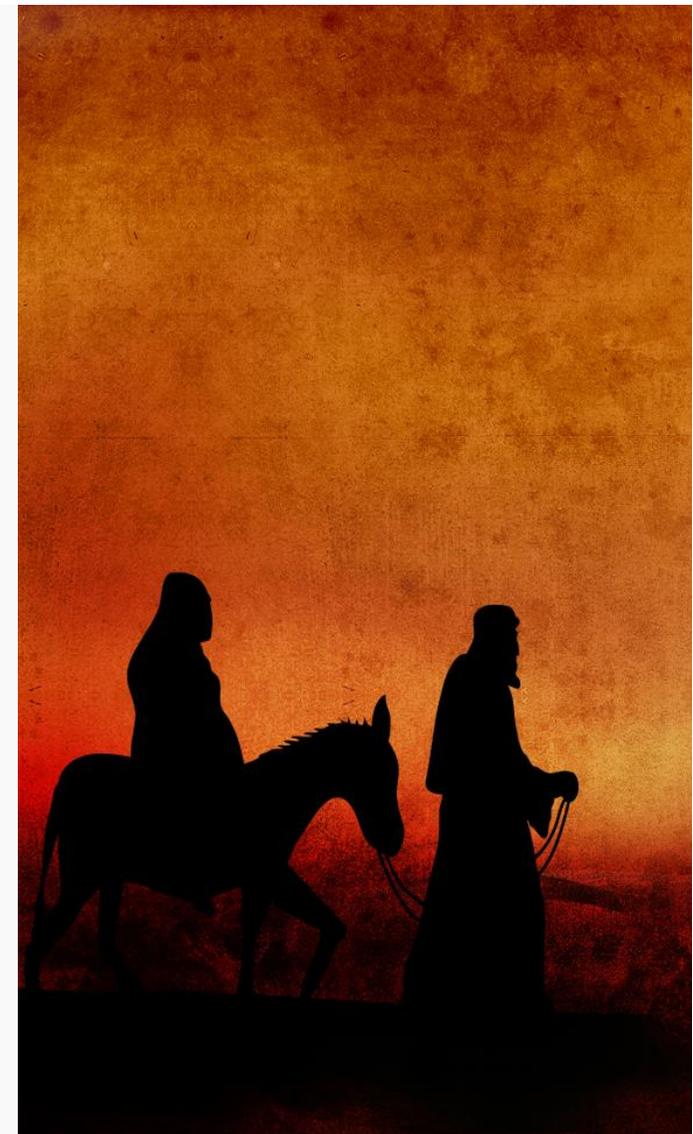
違和感しかない
預言の意味が
ついに明らかに

懐妊 ヨセフの従順 マタイ1:24~25

ヨセフは眠りから覚めると主の使いが命じたとおりにし、自分の妻を迎え入れた*が、子を産むまでは彼女を知ることはなかった。そして、その子の名をイエスとつけた。

*産まれてくる子は、公式にヨセフの子に!!

➔イエスは、紛れもなくヨセフの子
ダビデの子孫、メシア



主の約束通り、「女の子孫」「ダビデの子孫」としてメシアは誕生

Ⅲ. まとめと適用

真実のイスラエル



黎明期のイスラエルに示された メシアの影

- ①ヨセフ** …ヤコブの11番目の子。エジプトに売られ宰相に。
…一族のエジプト移住を促す →イスラエルの育成
- ②ミリアム(マリア)** …モーセの姉。赤子モーセの救出(誕生)。
…モーセと共にエジプトを脱出 →イスラエルの誕生
- ③ヨシュア(イエシュア)** …モーセの後継者。
…カレブと共に主に忠実に従い、約束の地に入った。
→イスラエルの誕生

イスラエルの存在そのものが、メシアの予型(影)

- イスラエルの歩みそのものが、メシアの予型(影)
育成に関わったのが、エジプト移住を促したヨセフ
誕生に関わったのが、モーセを助け、民を先導したミリアム
- ダビデの子孫・ヨセフを父とし
聖霊によって、マリアから誕生した
イエス(イエシュア=“主は救い”)こそ、イスラエルのメシア

イエスこそ、真のイスラエル

今も生き続けているイスラエルの神の契約

- イスラエルのメシアは、
罪の贖いのために十字架で死なれ、葬られ、復活された。
→ イスラエルは、このメシアの福音を信じて救われる
福音を信じた異邦人も、アブラハム契約の恵みに継がれた
- 世の終わり、メシアは、まず教会をみもとに引き上げられ、
イスラエルに裁きを下し、民族的回心へと導かれる。
イスラエルを虐げる敵を滅ぼし、
真実の神の王国・イスラエルを建てられる。

イスラエルの真実のメシアを覚えて

- メシアは、イスラエルを救うために来られた。
なぜなら、メシアこそ、真実のイスラエルだから。
- メシアを拒んだイスラエルの苦しみは今も続いている。
しかし、アブラハム契約は、今も変わらず生きている。
- メシアに助けを求めて叫ぶまで、イスラエルの苦しみは続く。
「ああ、エルサレム、エルサレム」と、涙を流されたメシアが、
今、この瞬間にも、イスラエルを守り続けておられる。

★ 接ぎ木された異邦人として ★

- イスラエルの永遠の契約に基づく恵みに接ぎ木された。
途方もない恵みの内に、小さな私たちが招き入れられた。
この恵みを味わい深めるためにこそ、学びが求められている。
- ナザレのイエスこそ、イスラエルのメシアだと宣言していこう。
イスラエルに妬みをおこさせるほどに、メシアの恵みを
味わいつくして、証ししていこう。

メシアを強く待ち望みつつ、福音を掲げて遣わされて行こう

てん とう
「天のお父さま。わたしの^{つみ}罪をゆるしてください

わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪を^{あがな}贖うために^{じゅうじか}十字架で^し死に、

②^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活した^{しん}こと、を信じます。

^{しゅ}主イエスこそ、^{やくそく}約束されたイスラエルのメシアです。

^{すく}救いの^{みわざ}御業を^な成し^と遂げられ、^{てん}天で^{だいさいし}大祭司となられた^{しゅ}主イエスは、

イスラエルの^{えいえん}永遠の^{おう}王として^{ふたたび}再び^{もど}戻ってこられます。

^{しゅ}主イエスよ。イスラエルを^{すく}救い、この^{せかい}世界と^{じんるい}人類を^{すく}救ってください。

^{しゅ}主イエス・キリストのみ^な名によって^{いの}祈ります。 アーメン」